

多摩川を歩く

～調布・狛江・川崎編～

① 多摩川の渡し
この辺りの渡しは、対岸の矢野口・菅と調布を結ぶ重要な交通機関として、江戸時代から長い間続いてきましたが、橋や鉄道が開通することによって順次姿を消していきました。ここは最後の渡しとして昭和48(1968)年に廃止となった「菅の渡し」があった場所です。



② 調布第一陸閘
陸閘(りっこう)は、地理的・人為的条件などによって堤防が連続して築けない場所で、普段は河川敷に出る通路として使用出来ます。洪水時は堤防の機能を確保するために締め切ります。

③ CCTV (Closed Circuit Television)
川の状態を監視するために設置されたカメラです。河川や河川管理施設の状況を24時間リアルタイムで把握できます。その映像は堤防内に敷設されている光ファイバ網を通じて京浜河川事務所へと集められています。

④ キロ杭 (距離標)
河口原点からの位置を知る事が出来るキロ杭 (距離標)です。1kmごとの両岸に設置されています。

⑤ 二ヶ領上河原堰
江戸時代初期に完成した二ヶ領用水の取水口として、最初に造られました。この頃は、竹で編んだ蛇籠に玉石を入れ、それを並べ取水していました。その後、渇水時にも水量が確保できるよう、コンクリート堰が昭和20(1945)年完成、さらに昭和46(1971)年に現在の堰堤となります。そして、平成22(2010)年、流下能力向上のため新たな改築が行われています。

⑥ 調布水辺の楽校
平成19(2007)年に「調布水辺の楽校設立準備会」が発足し、平成21(2009)年に開校しました。地域の河川に親しみ、その自然と資源を大切にしていけることを普及推進させるべく活動しています。

⑦ 府中用水
農業用水として江戸時代初期に開削され元禄6(1693)年に完成し、当時は「七カ村用水」「七カ村組合用水」と呼ばれていました。現在では都市排水路としての利用が多くなり、暗渠化された部分は緑道や親水公園等に整備され、散策路や体験学習の場として利用されています。

⑧ 調布市多摩川自然情報館
平成22(2010)年4月から開設し、さらに展示室が同年7月にオープンしました。多摩川を中心とした自然環境を学べる展示室や学習室を備えた、子どもから大人まで楽しく環境学習ができる施設です。



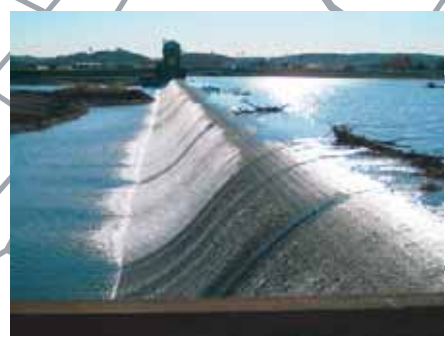
調布市多摩川自然情報館



玉翠園の石垣



狛江の五本松



二ヶ領上河原堰



CCTV



二ヶ領せせらぎ館



二ヶ領用水と桜並木

⑨ 六郷用水
徳川家康に優れた土木技術を認められた小泉次大夫の指揮により開削された六郷用水。二ヶ領用水とは双子の用水でした。現在ほとんど埋め立てられてしまいましたが、かつては田畑を潤すのはもちろん、洗い場や飲料水としても生活になくてはならない大切な用水路でした。

⑩ 玉翠園の石垣
玉翠園は、明治39(1906)年に井上公園として開園され、大正2年(1913)年には公園内に料亭「玉翠園」が開業しました。多摩川の向こうに富士山など遠望でき、多摩川の船遊びや川魚料理を楽しむお客さんや、小学校の林間学校などで賑わっていました。

⑪ 狛江の五本松
多摩水道橋上流左岸堤あたりに「狛江の五本松」と呼ばれる十本の松があります。この上流には映画の撮影所があったため、昔は時代劇のロケにも良く使われ、日本人の昔からの川畔のイメージを再現していました。

⑫ 多摩水道橋
初代の水道橋は、水道管に道路を併設する橋として、昭和28(1953)年12月に完成しました。以来水管橋として、また「登戸の渡し」に替わる道路橋として、重要な役割を担ってきました。平成7(1995)年5月に現在の四車線橋となりましたが、配水本管は引き続き使用されています。

⑬ 登戸の渡し
「登戸の渡し」は、江戸から津久井までの街道をつなぐ交通手段として、江戸時代より明治・大正・昭和とさまざまな利用されてきました。しかし、昭和28(1953)年の「多摩水道橋」竣工をもってその歴史に幕を閉じました。

⑭ かわさき水辺の楽校
「かわさき水辺の楽校」は、多摩川の豊かな自然を活用し、河川に関する様々な活動を通して子どもたちが水に親しみ楽しさを体験し、子どもたちが健全に成長することを目指すものです。平成13(2001)年7月に開校しました。

⑮ 二ヶ領宿河原堰
昔は灌漑用水を取水するために川幅いっぱい並べた蛇籠堰、昭和24(1949)年にはコンクリートの固定堰、そして昭和49(1974)年9月1日に起こった狛江水害を経て、平成11(1999)年には可動式のゲートを備えた堰へと姿を変えました。

⑯ 二ヶ領用水 (宿河原線)
二ヶ領用水は、江戸時代の初期に開削された多摩川最古の農業用水です。時代と共に変化したこの用水は、現在準用河川に指定され、春には桜が咲き誇る憩いの場となっています。

⑰ 二ヶ領せせらぎ館
二ヶ領宿河原堰管理所の一角にあり、展示室や会議室となっており、防災、環境、歴史、文化に関する学習などの情報発信拠点として活用されています。管理・運営は行政と市民との協働で行われています。